

Title	編集後記
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	2018
Jtitle	教養論叢 (Kyoyo-ronso). No.139 (2018. 2)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	朝吹亮二先生退職記念特集号 = Theses in honour of the retirement of professor Asabuki, Ryoji
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00062752-00000139-0296

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

編集後記

本号のような記念論文集をフランス語で「メランジュ」《Mélanges》という。原義は、混合、まぜあわせたもの。この言葉にたがわず、法学部内の部門を越えた、さまざまな分野の論考がここに集まって、まさに百花繚乱の趣、何とよろこばしいことだろう。

朝吹亮二さんが数々の重責を担って法学部に格別の貢献を果たされたこと、それは繰り返すまでもないだろう。それにもまして、この後記の筆者を含む多くの後輩たちにとって、朝吹さんは何よりもまず、すばらしい詩人でありつづけたのである。そのような素振りを朝吹さんは少しも見せなかったけれど。

さらに永遠の少年、と言ったら語弊があるかもしれないが、朝吹さんには、いついかなるときも徹底して合理的でありながら、それでいてしなやかな、若木がどこまでも撓む^{たわ}ような、何とも柔軟な精神のはたらきがある。そんな朝吹さんの言葉や振舞いに、ひそかに救われたり励まされたりした人は少なくないのではないか。

朝吹さん、わたしたちの万感の思いの徴^{しるし}としてこの一冊を贈ります。これからもどうか気軽にお声がけくださいますように。

H. K.